

神奈川 印刷ニュース

No.211

2020.春

神奈川県印刷工業組合

〒220-0011 横浜市西区高島2-10-20

TEL 045-441-4223 FAX 045-453-2383

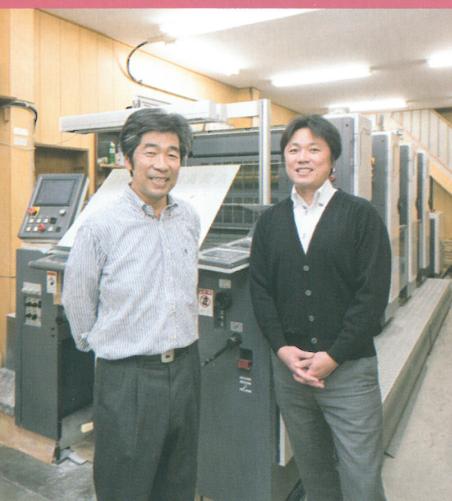
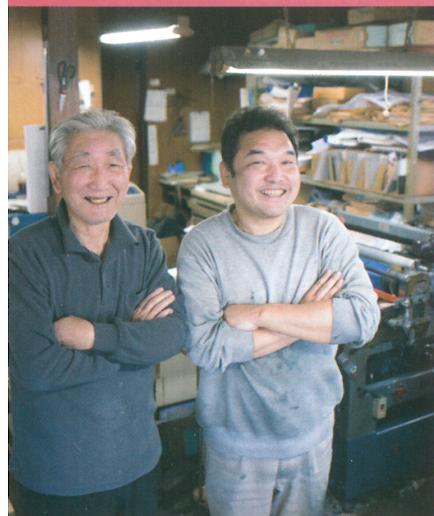
編集：総務組織委員会

■事業承継アルバム 印刷ニュース No.189-195

現代の産業におけるキーワードである事業承継をコンセプトにした印刷ニュースの表紙は印刷業界のみならず他産業及び他団体より称賛を受けることがありました。

撮影において貴重なお時間を頂戴し、表紙に登場して下さった皆様に心よりお礼申し上げます。

編集委員一同



経営革新マーケティング委員会主催セミナー報告

— 組合員全体の「Happy」を目指して —

第4回神奈川県印刷工業組合の「販路拡大」を共に考える時間

経営革新マーケティング委員会委員長 荒井 慶太 ((株)日相印刷 / 日相出版)

2019年度より、経営革新マーケティング委員会では、当組合の重点目標の一つである「全印工連が発信する「印刷道」「2025計画」「Happy Industry」の周知と浸透」のためのセミナーを実施しており、今回で4回目を迎めました。

セミナーの実施に際し、当委員会で重要視しているのは、以下の2点です。

1 実利直結型の「場」を共に創ること

→小さくともこの場に来れば「変化」「成長」が生じ実利につながる内容にする。

2 自走型で持続可能なセミナーの仕組みを共に創ること

→組合員による事例報告＆コラボレーション形式にして、受講者、プレゼンター共にセミナーを通して成長できる内容にする。

第4回は、ソリューションプロバイダー力UPのための「創業支援提案」ワークショップとプレゼンテーションを中心とした以下のプログラムで進行いたしました。

《第4回プログラム》

【1】第1回～第3回の事例報告レビュー（これまでの事例報告のポイントをかけあしでレビュー）

ソルミ印刷/横浜北支部(第1・2回)、山協印刷/湘南小田原支部(第1回)、日相印刷/湘北支部(第2回)
大和印刷所/湘北支部(第3回)、アマノ印刷/横浜横須賀支部(第3回)

【2】「創業支援提案」ワークショップ（チームに分かれて企画・提案会議＋チームごとにプレゼン）

実例を元にした「依頼案件」に対する企画・提案、プレゼンテーション。

【3】各支援機関のセミナー活用事例（中央会、商工会議所などのセミナー活用法）

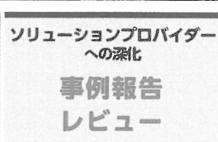
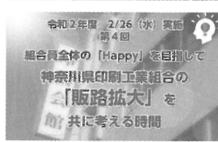
実際のプレスリリース作成、ホームページの作り方、SNS活用術などのセミナー紹介。

【1】第1回～第3回の事例報告レビュー【20分】



まずは、今回のメインプログラムであるワークショップがなるべく机上論、イベントに終わらないように、第1回～第3回までに実施された事例報告を振り返りました。本セミナーの事例報告は、実際に、当組合員の中で「ソリューションプロバイダー」として販路拡大につなげた実績のある会社に共有できる範囲で具体的な情報を公開していただいております。

これまで5社の事例報告が実施されました。全社共通のポイントは、「印刷道」の中でカテゴリーされている「ソリューションプロバイダー6類型」の1つめ「地域活性プロモーター」であることでした。



「印刷道」では、2013年から2020年までの印刷産業の将来像を予測し、その予測に基づいて、今後の中小・小規模印刷事業者が経営を存続し、また、発展するための方向性として、ソリューション・プロバイダーの6つの類型—①地域活性プロモーター、②特定機能プロバイダー、③特定業界スペシャリスト、④メディアプロダクトメーカー、⑤パーソナルメディアショップ、⑥印刷製造スペシャリスト—が提案されました(※6類型の詳細は、「印刷道」P.34～P.37をご覧ください)。

実際、これまでに販路拡大、または少なくとも現状維持ができた会社は、事例報告からも地域や特定分野をベースに「ソリューションプロバイダー」として、意識的にはもちろん、無意識的にでも活動してきたことが大きなポイントになっていると思われます。

周知の通り、ITをベースに「ソリューションプロバイダー」化している企業は急成長を遂げています。そして、今後ますますAI、IT化が加速します。中小・小規模印刷事業者のほとんどは、AI、IT化に大きな資本投下をすることは非常に難しく、2020年以降も人財の知恵と継続的努力で、「印刷」をベースに、製造・サービス・情報(メディア)の領域課題を解決できる、それぞれ独自のソリューションプロバイダーへの深化が必要だと強く感じます。そして、業界、日本経済をより良くするために、業界内での協力体制と他業種との協力体制が必須です。

「共に考える時間」は、「販路拡大」をテーマに組合員同士が交流し、ワークショップを通して、絆を強くし、協力体制の土台もつくりたいと思っています。

【2】—①「創業支援提案」ワークショップ【企画提案会議：45分】

今回のワークショップでは、地元店舗の創業支援が課題。25万円(税別)という費用内で、地元カレー店の創業支援として最適な提案を45分で考えてもらいました。

具体的な課題は、以下のスライドの通り。

【課題】次の案件で、最適な提案を考えてください。
石川県金沢で創業35年の人気店カレー店「三休庵」が2019年12月で閉店することになりましたが、その「三休庵」の権利と味を引き継いだ夫妻が、**御社の地元で、テイクアウト専門のカレー弁当のお店をオープンすることになりました。御社が地元のお店等の創業支援に強い会社と聞いて、相談。**
予算25万円(税別)以内で、できることを提案して欲しいとのこと。
★ロゴの制作は、必須とします。

【希望】

- ①ロゴの制作(必須)
- ②できれば看板等をつけたい。
- ③広告・宣伝につながるものを探してほしい。

《外観》



《外観》

- ①w3500mm
- ②w2800mm
- ③h 600mm
- ④h 2500mm

今回のメインプログラムとなる「創業支援提案」ワークショップは、会社やキャリア、性別がなるべくバランスよく分かれるように指定席で、A・B・Cの3つのテーブルによるチーム制で行い、各テーブルのリーダー、書記、プレゼンターを決めて、企画提案会議を45分実施いたしました。自然と各テーブルとも自己紹介から始まり、今回は、具体的な課題ということもあってか、始めから制限時間まで活発な会議となりました。



Aテーブルの様子

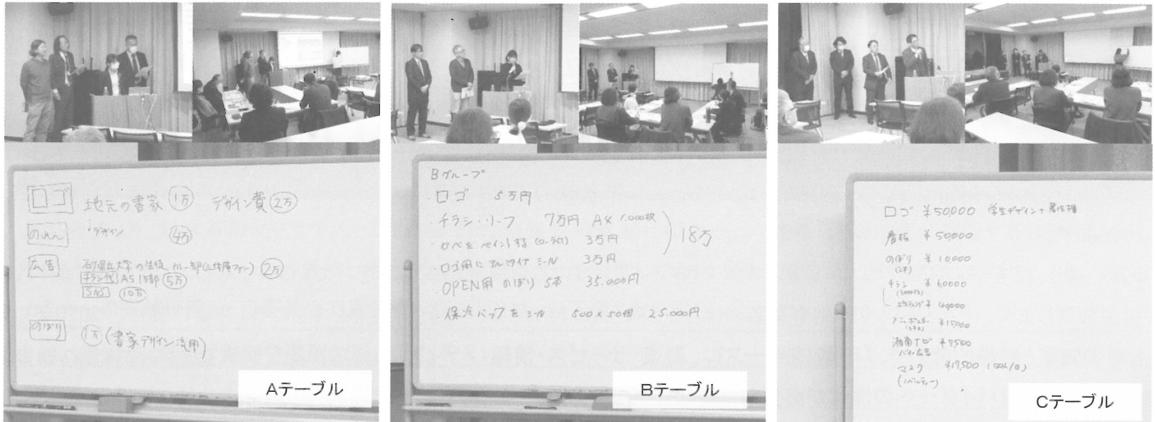


Bテーブルの様子



Cテーブルの様子

【2】—②「創業支援提案」ワークショップ【プレゼンテーション：15分】



企画提案会議の結果を各チームより、プレゼンしていただきました。それぞれ、会社・部署・キャリア等が違うメンバーがコラボレーションすることで、自分だけでは考え付かない第三の選択肢の導き方も体験できたのではないかでしょうか。

例えば、●地元の書家と連携したロゴ制作や地元大学生ファン化作戦(Aテーブル)、●壁のペインティング、保冷バッグノベルティ制作(Bテーブル)、●ノベルティマスク制作、自社サイト(湘ナビ)の活用(Cテーブル)など各テーブルとも、非常に面白い視点の提案もなされました。

45分という短い制限時間の中で、コストも意識しながら実現可能で、最大効果の上がる提案を導くことはとても難しかったと思います。ただ、実際の現場でも、短時間で、最適な提案をコストと共に提案することができれば、印刷通販やネット印刷では、最適化の相談はできませんので、明らかな差別化となり、確実に創注機会に恵まれます。

ソリューションプロバイダーとして、常に相手の予想を越える最適な提案がどれだけ早くできるかが重要ではないでしょうか。さらには、三方良し、CSR、SDGs等をベースとしたテーマある企画提案ができることも必要です。

そして、ソリューションプロバイダーは、営業だけに必要な力ではなく、会社全体として必要な力です。多岐にわたる課題解決の引き出しを持つには、規模の大小にかかわらず、如何に多くの信頼できるネットワークを持てるかがキーとなるはずです。

今後、継続して「共に考える時間」では、類似ワークショップを行っていけたらと思います。

【3】各支援機関のセミナー活用事例（中央会、商工会議所などのセミナー活用法）

ソリューションプロバイダーとして、情報産業の分野に精通することは特に重要となります。ただ、日常の中で自主的に学んだり、有料のセミナーや研修・勉強会に多くの人が参加することはなかなか難しいです。そこで、中小・小規模印刷事業者の支援を行なっている中央会や商工会議所等の無料セミナーの活用事例を紹介しました。無料とは思えない、具体的な方法や事例など配付される資料も充実しています。

中央会のセミナーの活用 創注につながった例なども紹介

- 「広告費ゼロ！効果的なメディア戦略」～マスコミがドンドン取材したくなるプレスリリース作成編～
- 「HP改善スキル勉強会」～レスポンス率が高くなる！ホームページの作り方～

商工会議所のセミナーの活用

- YouTube・Instagram・LINE他 活用術紹介セミナー



最後に、江森理事長、大川副理事長、中矢副理事長(経営マーケティング委員会担当副理事長)より総評をいただき、閉会となりました。

★各社および組合員全体の「成長」「利益」につながる内容であれば、今後も積極的に取り入れてまいりますので、ご意見やご希望(実施して欲しいテーマ)などございましたら、経営革新マーケティング委員会までお気軽にご連絡ください。

